News Release

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

令和７年１２月１２日

各報道機関文教担当記者　　様

金沢大学環日本海域環境研究センター
越境汚染の実態調査に係る７大学の研究成果を紹介！
「J-PEAKS 連携シンポジウム」１２／２５実施

１２月２５日，金沢大学環日本海域環境研究センターは，**「J-PEAKS 連携シンポジウム　大気・陸域・海洋環境の広域連携による学際研究への展開」を実施します**。

本センターは，経済活動が活発な西部太平洋縁辺海域を対象に，北極から南極までの南北測線での大気と海洋における調査研究を基に，地球規模での越境汚染の実態を調査しています。また，社会環境の変化に伴う有害物質の排出量と輸送量の変化に対応した生態系・ヒトの健康への影響評価に取り組んでいます。本シンポジウムでは，**越境汚染等により環境中に負荷される化学物質の動態と生態系・ヒトの健康への影響評価へ繋がる各大学で取り組んでいる研究成果を紹介**します。また，各研究分野の視点から取り組んだ研究結果を取りまとめ，大気・陸域・海洋環境を１つのシステムとして解析する学際研究への展開・進展について意見交換を行います。

ついては，**事前および当日の取材・報道**をよろしくお願いします。

記

金沢大学環日本海域環境研究センター主催　J-PEAKS 連携シンポジウム
大気・陸域・海洋環境の広域連携による学際研究への展開

日　時　：　令和７年１２月２５日（木）１３：００～１７：５５
場　所　：　金沢大学自然科学系図書館　AV ホール　（オンライン併用）
対　象　：　誰でも可　※参加申込が必要です
※詳細は，別添チラシをご参照ください。

以上

＜本件照会先＞
環日本海域環境研究センター　教授　長尾　誠也
Tel：０７６－２３４－６９６１　　E-Mail：seiya-nagao@se.kanazawa-u.ac.jp
理工系事務部総務課総務係　　多賀　曜子
Tel：０７６－２３４－６８２６　　E-Mail：s-somu@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学環日本海域環境研究センター　主催

J-PEAKS 連携シンポジウム
大気・陸域・海洋環境の広域連携による学際研究への展開

2025 年
12 月 25 日（木）13:00 － 17:55（受付 12:00 ～）
金沢大学自然科学系図書館　AVホール

【申込方法】
事前申し込みが必要です。下記のリンクから申し込みをお願いします。
申込フォーム：https://forms.gle/DHsHFG9DiFiCqCmE7（申込期限：12/19（金））
申込フォーム

13：30 ～
第 1 部　日本海における物質動態の解明研究：大学臨海実験所・研究機関ネットワーク

「海洋における有害有機物の動態研究」　金沢大学　松中　哲也
「臨海の連携でみる日本海の環境変動 - 温暖化と震災は環境 DNA で捉えられるか？ -」　島根大学　吉田　真明
「放射性核種からみた日本海の物質動態」　金沢大学　井上　睦夫
「日本海の熱塩循環と地球温暖化の影響」　九州大学　千手　智晴

15：00 ～
第 2 部　沿岸域での大気・陸・海結合研究

「大気由来放射性核種を用いた能登半島・熊木川における土砂流出イベントの推定」　金沢大学　落合　伸也
「沿岸生態系に海底湧水が果たす役割」　福井県立大学　杉本　亮
「海藻養殖漁場におけるブルーカーボンの高精度定量化と固定能評価」　長崎大学　西原　直希
「海産動物の環境汚染物質応答における分子機構解明への試み」　金沢大学　関口　俊男

16：30 ～
第 3 部　プラネタリーヘルス実現への取り組み

「長崎大学が目指すプラネタリーヘルス」　長崎大学　河本　和明
「環境とヒト健康との関係：環日センターが取り組む化学汚染物質の学際的影響評価研究」　金沢大学　長尾　誠也
「新潟大学における「食と健康」に関する取り組み」　新潟大学　勝見　一生
「超多項目健康ビッグデータを基盤としたグローバル Well-being 研究戦略構想」　弘前大学　村下　公一

【お問合せ】
金沢大学 環日本海域環境研究センター（〒920 -1192 金沢市 角間町）
Tel：076 -234 -6961 / E-mail: pattykiku@staff.kanazawa-u.ac.jp
Web ページ：https://www.ki-net.kanazawa-u.ac.jp/symposium/sympo/20251225-2/